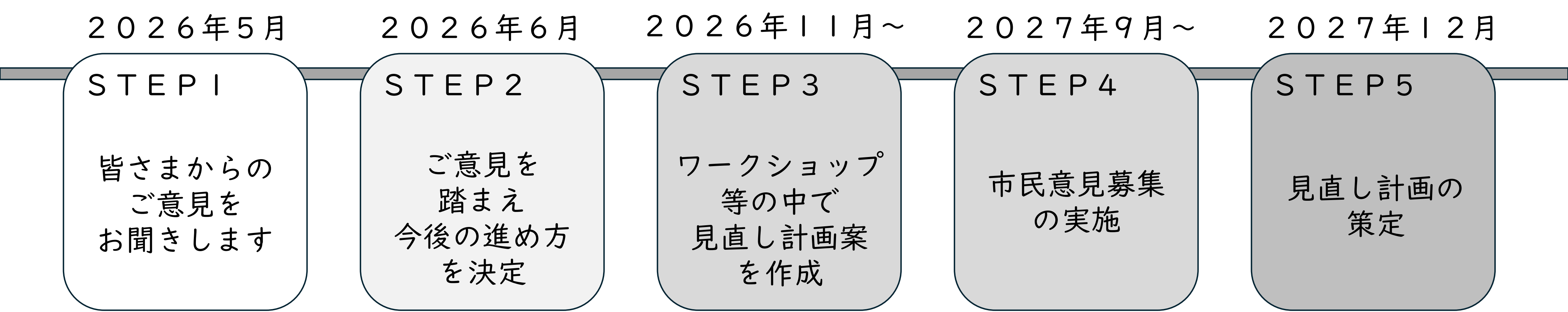


見直しの進め方について

“芸術の杜” 整備計画を見直すプロセス（案）にご意見をください。

見直しを進めるための大まかなステップ（案）

市民参加型のワークショップや市民意見募集などを行いながら、施設の配置計画や規模など、全体デザインを再構築します。



2026年と2027年の流れについて（案）

2026年

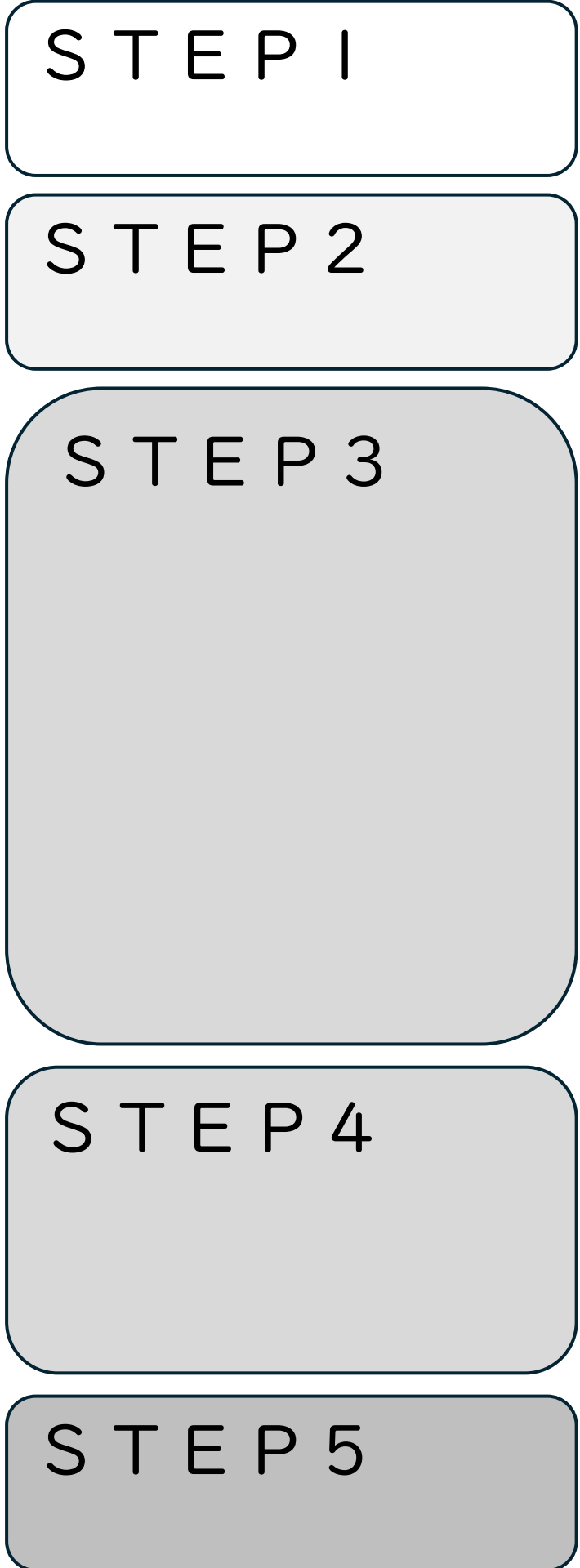
- 3月 芹ヶ谷公園“芸術の杜”整備計画の見直し
- 5月 市民の皆さまとの語る集い（22日・24日）
- 6月～ ご意見を踏まえ今後の進め方を決定
- 11月～ ワークショップ等の開催（ワークショップ等の開催状況を適宜公表）

2027年

- 8月 整備計画の見直し計画作成（素案）
- 9月 市民意見募集の実施
- 10月 市民意見募集結果の公表
- 12月 見直し計画の策定

2028年

策定した見直し計画に基づき、整備計画を推進



他市の事例紹介（他自治体ではこんなやり方で文化施設を作りました）

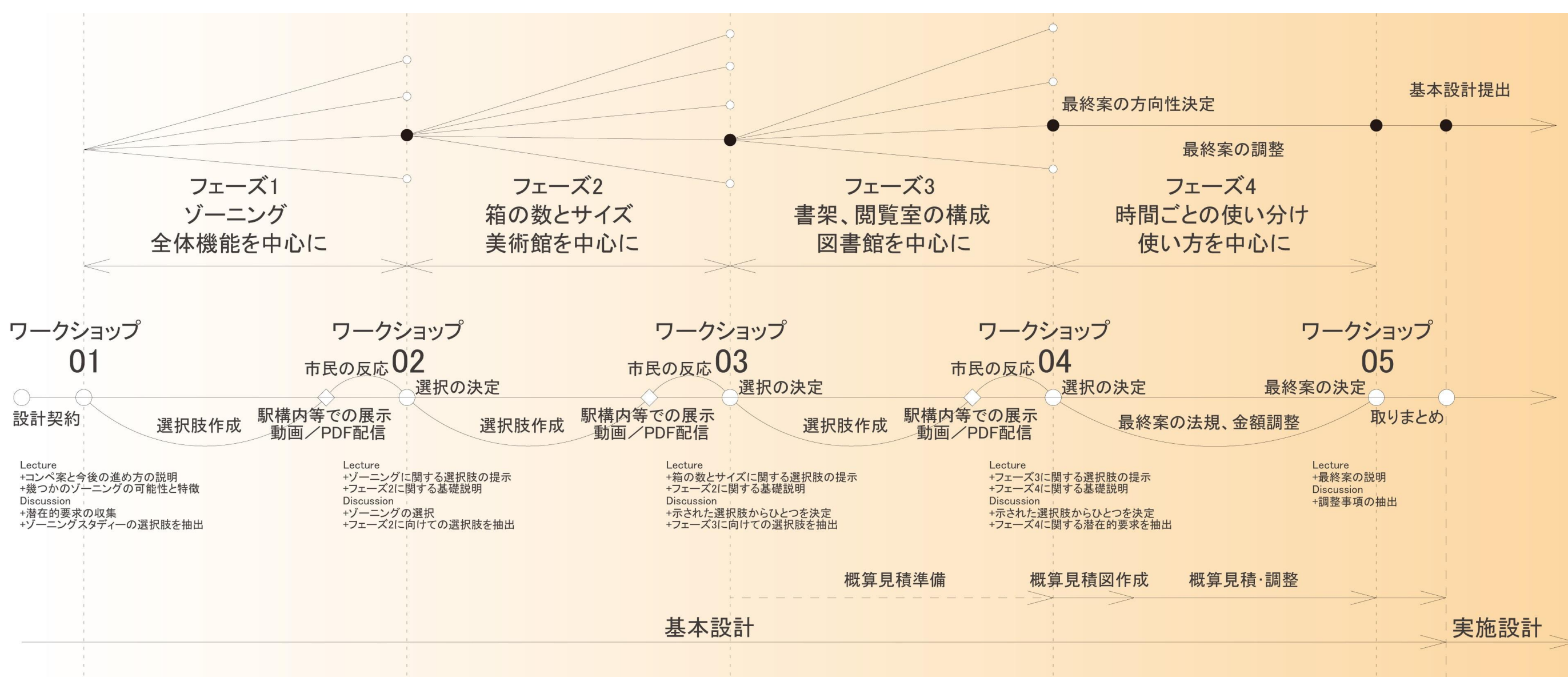
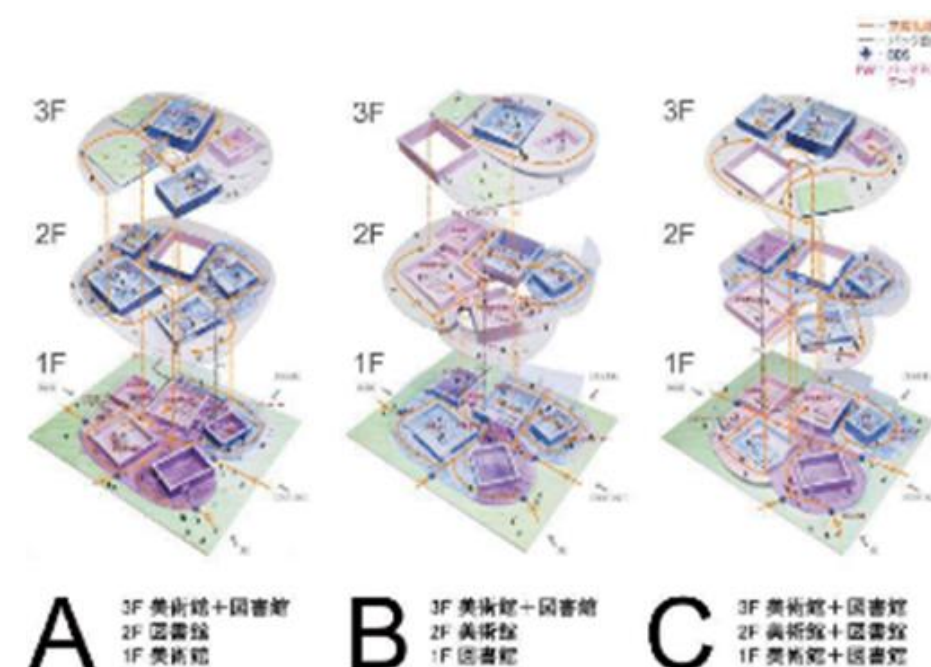
「市民説明会」のほかにも、より良い施設のあり方を考えるため、「市民参加型ワークショップ」など計画進行プロセスの中で、様々な工夫に取り組んだ自治体をご紹介します。

太田市美術館・図書館（群馬県太田市）

設計ワークショップ

設計者（建築家）、美術・図書館の専門家と希望した市民が参加

機能や規模などテーマごとに「参加者の意見→選択肢を作成→1つを選ぶ」を行う
（投票はSNS上でも可能）



長与町複合施設「ホンテラッセ長与」（長崎県長与町）

ながよの複合施設にくる「みんな」の使い方・過ごし方について考えるワークショップ

小学生から大学生までを含む町民と町職員が参加

参加者は「自分以外の誰か」がその施設で何をするか・どう過ごすかを想像する

町の「みんな」が使いやすい「公共」の施設へ



ながよの「みんな」カード

① どんなひと？

年齢は？ どんなことをしている人？

よくどこにいる？

② どんなことをしたい人？

③ 複合施設でどう過ごしている？

どこにいる？ 〈健康センター〉 〈飲食・休憩・交流の場〉 〈図書館〉

何をして過ごしている？

ながよの「みんな」カード